

令和5年度

要覧



「まなびの丘」

徳島県立総合教育センター

Tokushima Prefectural General Education Center

沿 革

昭和 24 年	1 月	徳島県教育研究所を設置
昭和 32 年	4 月	徳島県教育研究所を廃止し、徳島県立教育研究所を設置
昭和 44 年	4 月	徳島県立教育研究所を廃止し、徳島県教育研修センターを設置
	7 月	徳島県教育研修センター落成開所式
昭和 47 年	4 月	徳島県情報処理教育センター設置
平成 16 年	1 月	徳島県立総合教育センター新築工事竣工
	4 月	徳島県立総合教育センター設置 「企画総務課、学校支援課、情報教育課、特別支援課、生涯学習課」の五課を組織
	10 月	徳島県教育研修センター、徳島県情報処理教育センター廃止
	11 月	徳島県立総合教育センター落成開所式
平成 20 年	4 月	従来の組織を「企画総務課、学校経営支援課、教職員研修課、特別支援・相談課、生涯学習課」の五課に改編
平成 26 年	4 月	「教育情報課」を新設
平成 28 年	4 月	「生涯学習課」を「生涯学習支援課」に改称
令和 3 年	4 月	「教育情報課」を「GIGAスクール推進課」に改称

徳島県
教育研究所

徳島県立
教育研究所

徳島県教育
研修センター

徳島県
情報処理教育
センター

徳島県立総合教育センター

も く じ

- 沿革・もくじ
- 徳島県立総合教育センター設置目的
- 施設案内
- 事業概要
- 令和5年度の重点目標
- 組織機構（主な業務）
- 施設の概要（施設平面図、主な施設・設備の概要）
- 交通案内・連絡先

ページ

表紙裏

1

2～3

4～8

9～12

13

14～15

裏表紙

徳島県立総合教育センター設置目的

本県教育の充実を図ることにより、次代を担う人づくりを推進するとともに、県民の生涯学習の振興に寄与するため、徳島県立総合教育センターを板野郡板野町に設置する。

(平成 16 年徳島県条例第 25 号)



生涯にわたる学びをサポート ～子どもから大人まで支援します～

生涯学習機能と学校支援機能をあわせもつことにより、子どもから大人まで生涯にわたる学びを総合的に支援します。

校種間の枠を超えたサポート ～一人一人のニーズにこたえます～

あらゆる学校の子どもや保護者のニーズにこたえるため、専門性をもったスタッフが充実した施設を活用し、一人一人の子どもの健やかな発達を促す支援を行います。

時間や地理的条件を超えたサポート ～いつでもどこでも学べる環境を～

e ラーニングシステム等の教育用コンテンツを充実し、「いつでも」「どこでも」自由に選択して学ぶことができるような学習環境を整備します。

ニーズに素早くこたえるサポート ～身近で素早くこたえます～

学校などへ積極的に向かい連携を強化し、課題に素早くこたえられるセンターをめざします。また、教育活動にかかわるニーズにこたえるため「カリキュラムサポートセンター」を充実し、よくわかる授業づくりに向けての相談や、資料・情報の収集と提供を行います。

施設案内

生涯学習の場として

1階西側は「生涯学習」のエリアです。子どもから大人までの生涯にわたる学びをサポートするため、様々な情報の提供や徳島県立総合大学校などの各種講座を開催します。また、学習相談への対応や生涯学習推進に携わる指導者としてのスキルアップを図る場を提供します。

● マナビィセンター

マナビィセンターの6つのコーナー

- ☆図書コーナー
- ☆視聴覚ライブラリー
- ☆交流コーナー
- ☆情報検索コーナー
- ☆学習相談コーナー
- ☆まなびいルーム

◇御利用いただける日時

月曜日（休館日：祝日の場合は翌日）、年末年始
及び点検日を除く午前9時から午後5時まで



教育相談の場として

1階・2階東側は「こころとからだのサポートセンター」のエリアです。不登校やひきこもりなどの相談、発達障がいを含めた障がいのある子どもについての相談に応じ、一人一人の子どもの健やかな成長を支援します。また、特別支援教育や教育相談に関する教職員研修や指導助言を行います。

【相談方法】

● 来所相談

事前に電話で御予約いただければ、来所相談をお受けします。（面談時間は1回50分）

● 電話・メール相談

電話やメールでの相談をお受けしますので、お気軽に御連絡ください。

電 話 088 - 672 - 5200

ファクシミリ 088 - 672 - 5229

E-mail tokubetsushien@mt.tokushima-ec.ed.jp

● 出張相談

来所相談の中で、必要が生じた場合などに、職員が学校等へ出向きます。

【相談日時】

土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く午前9時から午後5時まで



学校教育支援の場として

学校における教育活動について役立つ資料・情報の提供や I C Tを活用した教育の推進など、様々な支援業務を行います。特に、学校における多様な教育課題の解決に向けて、学校と連携を図り、迅速な対応を行います。

● カリキュラムサポートセンター

「学習指導案をどう書けばいいかわからない」、「道徳や学級（ホームルーム）活動の授業づくりはどうすればいいのだろう」……など、日々の教育活動の中で疑問に思ったことやわからないことがあれば、「カリキュラムサポートセンター」を御利用ください。

カリキュラムサポートセンターでは、学校訪問や基本研修での各種指導案、研究大会資料、文部科学省・県指定研究紀要、実践事例集、事業報告書、教育図書、教育雑誌等を閲覧することができます。各種指導案や教育資料件名については、その一覧を当センターの Web サイトから検索できますので、御活用ください。

※御利用いただける時間

月～金曜日	9：00～17：00
火・金曜日時間延長 （※要予約）	17：00～19：00 （公立学校の長期休業日中は除く）
第2・第4土曜日	9：00～17：00 （祝日、公立学校の長期休業日中は除く）

日曜日、祝日、年末年始及び第1・3・5土曜日は閉室



カリキュラムサポートセンター

● カリキュラム・カフェ

毎月第2・第4土曜日に、自主参加型の「カリキュラム・カフェ」を開催しています。

授業改善や新たな授業づくりに取り組む教職員の学びの場として積極的な参加をお待ちしています。

内容等の詳細については当センターの Web サイトで御確認ください。



全校種：英語
「Let's share! ～ I C Tを活用した授業改善～」

事業概要

徳島県立総合教育センターは、条例に定める設置の目的を達成するため、徳島県教育委員会「徳島県教育振興計画（第3期）」に基づき、次の事業を推進しています。

- 1 教育関係職員の研修
- 2 教育に関する専門的、技術的事項の調査研究及び指導助言
- 3 G I G Aスクール構想の推進
- 4 教育相談
- 5 生涯学習の振興

1 教育関係職員の研修

(1) 教職員の資質向上を図る研修の実施

教職員対象の各種研修を体系的に構築し、今日的な教育課題への対応や専門的な知識・技能等の習得をめざし、教職員の資質向上を図ります。

ア 基本研修

キャリアステージに応じて、職務遂行上必要な知識・技能等の習得を図るための研修講座です。

イ 職務研修

職責・職能等に応じた知識・技能等を習得し、職務遂行の能力の向上を図るための研修講座です。

ウ 推薦研修

市町村教育委員会や学校からの推薦を受けて実施する研修講座です。

エ 特別研修

喫緊の教育課題の把握と解決を図るために、国や県の施策を受けて重点的に進めていく研修講座です。

オ 希望研修

自己の教育課題の解決のために、自由に選択して学ぶことができる研修講座です。
食育や特別支援教育等、様々な教育活動に関わる教職員の目的やニーズにこたえるための研修内容になっています。

カ 教育職員免許法認定講習

特別支援学校教諭普通免許状を取得するための講習です。

キ 大学・研究機関等研修

鳴門教育大学・徳島大学・徳島文理大学・四国大学・徳島工業短期大学・農業大学校・徳島県立博物館・阿南市科学センター・あすたむらんど徳島・徳島県職員会館・徳島税務署・木材利用創造センターで実施される研修講座です。教育活動に関する各分野の専門性を高めるために、自由に選択して学ぶことができる研修講座です。

この他、G I G Aスクール構想推進のための訪問型研修や自主研修、受託研修等で、教職員の指導力向上を支援します。



ミドルリーダー研修

● 研修体系別内訳 令和4年度実績

研 修 の 種 類	研修講座数	受講者数
基 本 研 修	13 講座	* ¹ 876 人
職 務 研 修	40 講座	5,933 人
推 薦 研 修	13 講座	1,602 人
特 別 研 修	12 講座	2,502 人
希 望 研 修	8 講座	909 人
教 育 職 員 免 許 法 認 定 講 習	7 講座	257 人
大 学 ・ 研 究 機 関 等 研 修	27 講座	* ² 10 人

*¹ 基本研修の受講者数は、受講対象者数を示しています。

*² 大学・研究機関等研修の一部は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修を実施しませんでした。

● 令和4年度の特徴ある講座

主幹教諭研修（令和3年度、4年度に任用された主幹教諭 小・中）

主幹教諭研修は、未知の世界に果敢に挑戦する、夢と志あふれる次世代のスクールリーダーを育成し、学校組織の活性化を図ることを目的として、令和2年度より実施されています。

本研修は、徳島県教育委員会と独立行政法人教職員支援機構・四国地域アライアンス鳴門教育大学センターとの共催により、鳴門教育大学を会場として実施しています。2年間で12回の研修を計画しており、受講者は、学校組織マネジメント、リスクマネジメント、教育法規、メンタルヘルス等、スクールリーダーとして必要な知識を身に付けることができます。

加えて、研修で学んだことを実際に所属校等で生かすことができるように、現職校長を講師とする学校経営に関する講義・演習や所属校の喫緊の課題への対応を協議する場を設けています。

受講者は、回を重ねるごとに、スクールリーダーとしての意識が高まってきています。今後も、四国地域アライアンス鳴門教育大学センターと共同で専門的知見から研修を企画し、社会の変化に対応した研修を実施する予定です。

なお、令和5年度からは県立学校でもこの制度による主幹教諭が任用されており、幅広い校種間の交流も行う予定です。



2 教育に関する専門的、技術的事項の調査研究及び指導助言

(1) 教育課題を踏まえた調査研究・情報提供

徳島県教育課題を踏まえた調査研究を行い、その結果を学校や教育関係機関に提供します。

● 令和5年度研究活動 研究テーマ

研 究 テ ー マ	担 当 課
I C Tを活用した主体的・対話的で深い学びの実践と評価～高等学校地理歴史科の実践を中心に～	学校経営支援課 高校教育担当
学校管理職養成研修モデルとしての主幹教諭研修プログラムの構築をめざしてーP D C Aサイクルを機能させた研修プログラム検討を通してー	教職員研修課 専門研修担当
徳島県公立小中学校「学校業務支援システム」の構築及び運用についての研究	G I G Aスクール推進課 学校支援担当
教育と福祉の連携深化のためのコアカリキュラムに基づく支援人材育成研修の実践研究	特別支援・相談課 特別支援担当
県民の生涯学習活動への支援の在り方についてーマナビィセンターから県民の新たな学びの価値観の創出をめざしてー	生涯学習支援課 学習支援担当

(2) 学校や教職員に対する支援

「生きる力」の育成をめざし、各学校の教育内容、指導方法等についての指導助言を行うとともに要請訪問などを通して、各学校の教育課題や研究主題に応じた指導の充実を図ります。

- ア キャリア教育、国際理解教育、図書館教育、自然体験・社会体験活動、環境教育、情報教育、視聴覚教育、食育、伝統や文化に関する教育等の推進
- イ へき地・複式教育の充実

● 令和4年度の要請訪問（GIGAスクール構想サポート研修を含む）

要 請 訪 問	
幼稚園・小学校・中学校	355 回
高等学校	22 回
特別支援学校	63 回

(3) 特別支援教育に関する指導助言や支援の実施

特別支援教育に対する理解・啓発を図るとともに、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の教育内容や指導方法等について指導助言を行い、特別支援教育の推進を図ります。

- ア 特別支援学校学習指導要領等に基づく適切な教育課程の編成・実施に係る指導助言
- イ 幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実
- ウ 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の構築
- エ 「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を活用した教育の推進
- オ ポジティブ行動支援の充実

(4) 教育に関する資料や情報の収集及び提供

カリキュラムサポートセンター、中央教科書センター、図書・視聴覚ライブラリーにおいて、教育の各分野に関する資料や情報を収集し提供することにより、本県教育の充実・振興を図ります。

● カリキュラムサポートセンター

所 蔵 資 料 数	37,943 冊
令和4年度利用者数	1,248 人

● 中央教科書センター

所蔵資料数（教科書関係）	12,868 冊
令和4年度利用者数	683 人

● 図書・視聴覚ライブラリー

所 蔵 資 料 数	図 書	12,099 冊
	視聴覚ライブラリー	6,261 本
令和4年度の貸出数	図 書	8,393 冊
	視聴覚ライブラリー	366 本



中央教科書センター

3 G I G Aスクール構想の推進

(1) 情報教育の支援

各学校の教育課題に応じた情報教育推進に関する支援を行います。

- ア 教員の I C T（情報通信技術）活用指導力の向上
- イ 児童生徒の情報活用能力の向上
- ウ プログラミング教育の推進
- エ 情報モラル教育の充実
- オ 学校情報セキュリティの向上

(2) 校務の情報化の支援

ネットワークを活用した学習活動や業務の効率化の支援等を行います。

- ア 徳島県教育情報ネットワークの管理・運用
- イ 教育情報ネットワークに係る各種サービス（テレビ会議システム、eラーニングシステム等）の運用・管理
- ウ 学校支援システムの運用・管理
- エ 学校ホームページの構築・作成への支援

4 教育相談

(1) 各種相談

来所相談、電話相談、出張相談及びメール相談により、幼児児童生徒、保護者、教職員等からの相談や質問に答えます。

- ア 発達障がいを含めた障がいのある幼児児童生徒についての諸問題
- イ 不登校、いじめ等の諸問題

● 令和4年度の相談回数

来 所 相 談	電 話 相 談	出 張 相 談	メー ル 相 談	計
283 回	486 回	10 回	35 回	814 回

(2) 派遣事業

- ア ライフサポーターの派遣
- イ 専門家による相談

● 令和4年度のライフサポーター派遣回数

小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	特別支援学校	計
40 回	173 回	32 回	16 回	261 回

● 令和4年度の専門家による相談回数

幼 稚 園	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	特別支援学校	計
0 回	0 回	1 回	0 回	0 回	1 回

(3) 不登校児童生徒支援会議によるケース会議（関係機関との連携による支援）

● 令和4年度の個別ケース会議実施件数

小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	特別支援学校	就 学 前	計
2 件	3 件	1 件	0 件	0 件	6 件

● 令和4年度の学年団・クラス等に対するケース会議実施件数

- 中学校第2学年団・・・1件
- 小学校5年生のクラス・・・1件
- 合計2件

5 生涯学習の振興

(1) 生涯学習指導者養成研修の実施

生涯学習推進に携わる指導者を養成し、その資質向上をめざして各種研修を実施します。

- ア 地域教育力向上に関する研修
- イ 家庭教育に関する研修
- ウ 青少年団体指導者研修
- エ 視聴覚教育に関する研修
- オ 図書館長研修
- カ マナビイセンター主催講座
- キ 地方創生やまちづくりに関する講座

● 令和4年度に実施した主な研修・講座



マナビイセンター主催講座
(あせび子ども邦楽教室)

- ・ 共育たのしみ隊パワーアップ講座
- ・ がんばるあなたのスキルアップ講座
- ・ 学校防災人材育成講座
- ・ 視聴覚教育指導者研修講座
- ・ ファミリー体験学習推進プロジェクト
- ・ マナビイセンター主催講座
- ・ 県立総合大学校本部主催講座
- ・ 2025 年大阪・関西万博応援講座



共育たのしみ隊
パワーアップ講座

(2) 学習機会の提供

各関係機関との連携や講座等の実施により、生涯学習の機会を提供します。

- ア 県立総合大学校本部主催講座
 - ・ 新未来とくしま講座
 - ・ とくしま“ひと・まち”づくり実践講座
- イ マナビイセンター主催講座
 - ・ 学んで伝える体験ひろば（パソコン教室、複音ハーモニカ基礎講座など）
 - ・ 親子で楽しむ体験ひろば（ベビー講座、おはなしと折り紙など）
 - ・ 子ども体験ひろば（あせび子ども邦楽教室）
 - ・ 徳島おもてなし体験講座（2025 年大阪・関西万博応援事業）
- ウ 県立総合大学校県民企画講座（朗読文化講座など）

(3) 学習情報の提供と学習相談の充実

各関係機関と連携し、県民の方へ学習情報の提供や相談を行います。

- ア 県立総合大学校「講座一覧表」の充実と利用促進
- イ 生涯学習情報システムの充実と利用促進
- ウ 視聴覚ライブラリーの充実と利用促進
- エ 生涯学習に関する学習相談

令和5年度の重点目標

学校教育支援の充実、教職員研修の充実、G I G Aスクール構想の推進、教育相談の充実、特別支援教育の推進及び生涯学習の推進を図ります。

1 学校教育支援の充実

(1) 「確かな学力」の育成支援

- ア 「学力向上実行プラン」におけるP D C Aサイクルの更なる充実に向けた支援を行います。
- ・ 思考力・判断力・表現力等の育成に向けて、「言語活動の充実」を重点課題とし、すべての教科等において知識・技能を活用する学習活動を充実させるための支援を行います。
 - ・ 「全国学力・学習状況調査」、「徳島県学力ステップアップテスト」の結果を分析し、各学校への指導助言及び資料提供を行います。
 - ・ 「学力向上実行プラン」に沿った取組を推進し、数値目標の達成に向けた支援を行います。
- イ 要請訪問等において、各学校の授業力向上のための支援を行います。
- ・ 各学校の実態や課題に焦点を当てた指導助言を行います。
 - ・ 「言語活動の充実」を図った授業、学習意欲を高めるための授業、I C Tを活用した授業等の実施を推進します。

(2) 社会の変化に対応する教育の推進

- ア 急速な社会の変化に、子どもたち一人一人が主体的に対応できる能力・態度を育成するため、小・中・高・中等教育学校におけるキャリア教育を推進します。
- イ 子どもたちに望ましい食習慣等を身に付ける食育を推進するとともに、子どもたちが生涯にわたって健康で安全な生活を営むための土台を築くことができるよう、支援を行います。
- ウ グローバル化が加速する中、国際交流の促進を図るため、県内の高等学校・中等教育学校・中学校において、留学生や海外訪問生徒を受け入れている学校に、交流行事の提案や場所の提供を行います。

2 教職員研修の充実

(1) 「とくしま教員育成指標」を踏まえた体系的な研修の充実

- ア 教職員のキャリアステージに応じた連続性・発展性のある基本研修を実施します。
- ・ 「とくしま教職員研修のしおり」を用いて、新任教員の実践的指導力と使命感を養い、幅広い知見の獲得を目指して研修を行います。
 - ・ 基本研修の目的に即して、「とくしま授業技術の基礎・基本」、「阿波っ子のみらい」等を活用し、授業力の向上を図ります。
 - ・ 「フレッシュ研修Ⅰ（初任者研修）」では「学級経営はじめの一步 ―ともにあゆもう―」を活用し、学級経営の基礎的・基本的な力量の形成を目指します。
 - ・ 「フレッシュ研修Ⅱ」では、キャリア教育をはじめとする教育実践に生かせるよう、徳島県内の企業や施設等と連携した企業等研修を実施しています。
 - ・ ジャンプアップ研修では、eラーニングによる研修を導入し、現状を効率よく認識するとともに、受講者の負担を軽減します。

- ・「ミドルリーダー研修」受講者と「フレッシュ研修Ⅱ」受講者の模擬授業研修でのマッチングによる異研修交流を行います。
- イ 徳島県英語教育推進計画 COMPASS に基づいた英語教育を推進するために、英語の特別研修（「つながる外国語教育！小中高連携E X研修」等）を実施します。
- ウ 学校が抱える今日的な教育課題を解決するため、次のような研修を継続して実施します。
 - ・学校における危機管理、地震・津波等の災害対応能力の育成に関する研修を実施します。
 - ・消費者教育、主権者教育、食育等の推進を図るための研修を実施します。
 - ・管理職を対象とした「学校リーダー研修」では、選択制を取り入れ、各校の課題、研修日時、研修形態等に柔軟に対応した研修を実施します。
 - ・学校や地域における教育活動の活性化や人材の育成に向けてリーダーシップの養成を図る「リーダーシップ養成研修」を実施します。
 - ・採用前の教職員が4月からの業務をより円滑にスタートできるように、「採用前研修」、「O U R教員すだち塾」を実施します。
- エ 教職員の悩みの解決に実効性のある希望研修を実施します。
- オ 研修場所への移動距離を短くするため、サテライト方式が可能な研修会を検討します。
 - ・「徳島県学校給食衛生管理推進研修会」では、サテライト方式を導入することで、各地域の現状に合わせた少人数ならではの効果的な研修を実施します。
- カ 各講座の中に1人1台タブレット端末等を活用した内容を取り入れ、G I G Aスクール構想を推進します。
- キ 新型コロナウイルス感染症防止、教職員の働き方改革等の観点から、オンライン型、オンデマンド型等、様々な形態による研修を実施します。

(2) 研修の成果の活用

各講座において受講者が研修内容を振り返る時間を設定し、学んだことを授業等においてどのように生かすかを明確にすることで研修の成果の活用を図ります。

(3) 研修講座の改善に向けて

子どもたちに育成すべき資質・能力の確実な定着・向上に資する教職員研修の充実を図るため、受講者アンケートを実施します。研修終了後、期間を空けて成果確認のアンケートを実施することで、受講者が理論と実践の往還ができることを目指します。また、実践を通じた受講者の声や気づきから、研修内容や方法についての改善点を整理し、次年度の計画に生かします。

(4) 研修履歴の有効活用

教職員個々の研修履歴を活用し、教職員一人一人に即した研修を自他で見出しながら各キャリアステージにおける効果的な研修の受講システムを構築します。

3 G I G Aスクール構想の推進

(1) 児童生徒の情報活用能力の育成に向けた計画的な取組

- ア 児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力の育成を推進します。
- イ 小学校段階におけるプログラミング教育を推進します。
- ウ 児童生徒の発達段階に応じた体系的な情報モラル教育を推進します。

(2) 教科指導におけるＩＣＴ活用の推進

- ア 児童生徒１人１台のタブレット端末の活用を推進します。
- イ Web 会議システム等を利用した遠隔教育や交流授業等を推進します。
- ウ e ラーニングシステムの利用による教職員研修や児童生徒の個に応じた学習に関する研究に取り組みます。
- エ 教育情報ネットワークを通じて、県立学校等へ各種サービス（メール・インターネット等）を提供します。

(3) 校務の情報化の推進

- ア 県立学校における統合型校務支援システム等の運用を支援します。
- イ 公立小中学校における学校業務支援システム等の運用を支援します。

(4) 教職員研修の充実

- ア 教職員のプログラミング教育指導力の向上やＩＣＴを活用した授業改善に向けた研修等の充実を図ります。
- イ 教職員が情報モラル教育に関する指導力を向上させるための研修の充実を図ります。

(5) 総合的な情報セキュリティ対策の推進

- ア 県立学校等における情報セキュリティの確保に向けた取組を推進します。
- イ 学校における情報資産の流出や漏洩を防ぐため、情報セキュリティの確保に関する研修を充実します。

4 教育相談の充実

(1) 教育相談体制づくりの推進

- ア 各指導主事の専門性が発揮できる相談体制を構築します。
- イ 学校、福祉や医療の専門機関、警察等と連携を密にし、相談に適切に対応します。
- ウ 学校と積極的に連携し、情報交換に努め、学校が抱える問題を的確に把握します。

(2) 不登校の児童生徒に対する相談体制の充実

- ア ライフサポーターの派遣
学校の要請に応じて、不登校やひきこもり傾向にある児童生徒の家庭や学校に、臨床心理学を学ぶ大学院生を派遣し、自立を側面的に支援します。
- イ 専門家による相談
不登校による来所相談で、専門的な対応が必要な場合に、大学教授・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等を招いてケース会議を開催し、児童生徒・保護者・教員等へ助言等を行います。
- ウ ほっとスペースあせび
不登校やひきこもり傾向にある中学生・高校生等とその保護者を対象に、グループ活動や相談等を行います。

5 特別支援教育の推進

(1) 通常の学校における特別支援教育の推進

- ア 学校訪問・要請訪問等において、通常の学級に在籍する支援を必要とする児童生徒に視点をおき、わかる授業づくりに関する支援を行います。

- イ 特別支援教育コーディネーター研修等を行い、校内支援体制の充実を図ります。
- ウ 「特別支援学級ハンドブック改訂版（素案）」等を活用し、特別支援学級の理解と専門性の向上を図ります。
- エ 「通級による指導ハンドブック」等を活用し、通級による指導の理解と専門性の向上を図ります。
- オ 「ポジティブ行動支援実践事例集Ⅲ」を通して、学校規模で全ての児童生徒を対象として実施するポジティブ行動支援に関する支援を行います。

(2) 特別支援学校における特別支援教育の推進

- ア 特別支援教育研修会、徳島県教育委員会教育職員免許法認定講習等において、幼児児童生徒の障がいの重度・重複化、多様化に対応する教育の専門性向上を図ります。
- イ 学校訪問・要請訪問等において、授業改善のための指導や支援を行います。
- ウ 企業や事業所等の関係者に対して、発達障がい等に関する正しい理解を図るため、「発達障がい者等雇用企業応援研修」を行い、高等部生徒の就職を支援します。

(3) 障がいのある幼児児童生徒の生涯にわたる一貫した支援の推進

- ア 教育支援委員会調査員研修講座を実施し、市町村が行う適切な就学に係る教育支援や教育相談の向上に寄与します。
- イ 「個別の教育支援計画を作成・活用するために」を活用し、個別の教育支援計画についての研修を行い、関係機関との連携を推進します。

6 生涯学習の推進

(1) 徳島県立総合大学校における学習機会の提供と学習支援

- ア 徳島県立総合大学校本部事務局として、「講座一覧表」の紙媒体と生涯学習情報システムのＩＣＴを活用し、県内各地で行われている県民を対象とした講座情報を広報します。
- イ 徳島の文化、自然、くらし等に関することを学んだり、地域の活性化に向けて地域のリーダーを養成したりする主催講座を実施します。



新未来とくしま講座

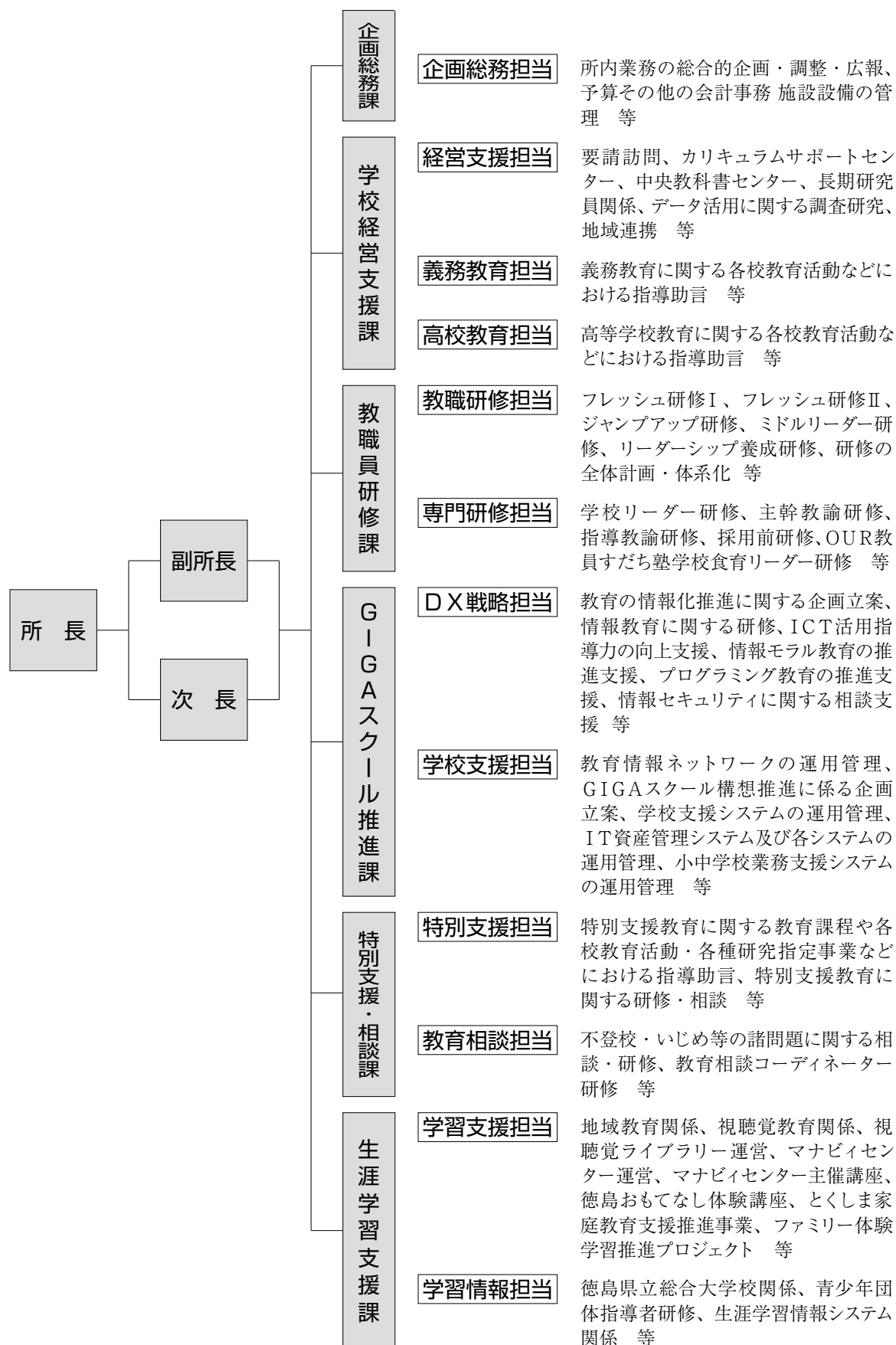
(2) 家庭や地域の教育力の向上

- 家庭、地域、学校及び関係機関と連携を図りながら、とくしま家庭教育支援推進事業等を実施することで、家庭や地域の教育力の向上を推進します。

(3) マナビィセンターの効果的な活用

- 図書コーナー、視聴覚ライブラリーを設けて図書やＤＶＤ等を授業用・各種研修用の教材として提供しています。また、「開かれた総合教育センター」として、まなびいルームや交流コーナーを、広く県民のみなさんに開放し、生涯学習の場・各種活動（学習）発表の場として、生涯学習への意欲を高めます。

組織機構（主な業務）



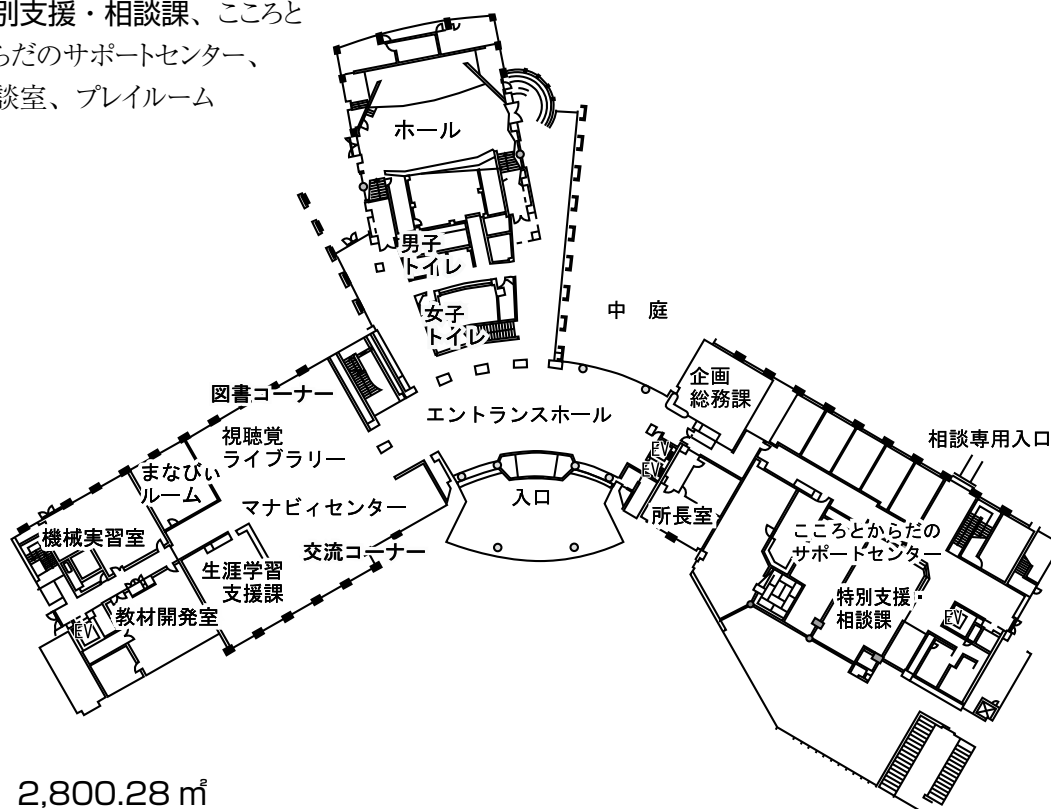
施設の概要（施設平面図、主な施設・設備の概要）

1階 3,785.63 m²

所長室、企画総務課、ホール（355人）

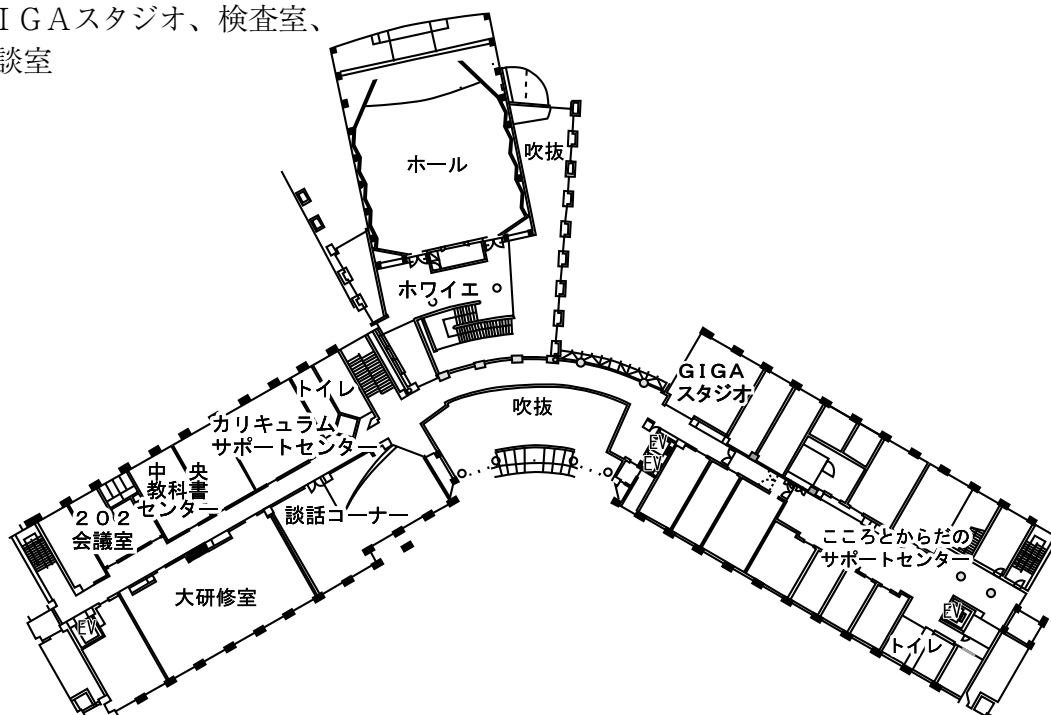
生涯学習支援課、マナビイセンター、視聴覚ライブラリー、図書コーナー、交流コーナー、
情報検索コーナー、学習相談コーナー、まなびいルーム、機械実習室、教材開発室、
特別支援・相談課、こころとからだの

からだのサポートセンター、
相談室、プレイルーム



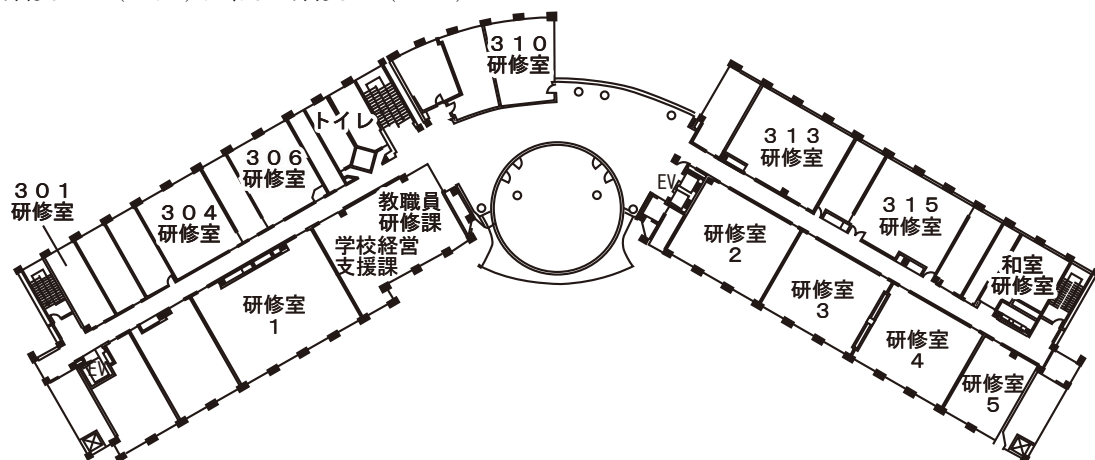
2階 2,800.28 m²

カリキュラムサポートセンター、中央教科書センター、大研修室（144人）、
GIGAスタジオ、検査室、
相談室



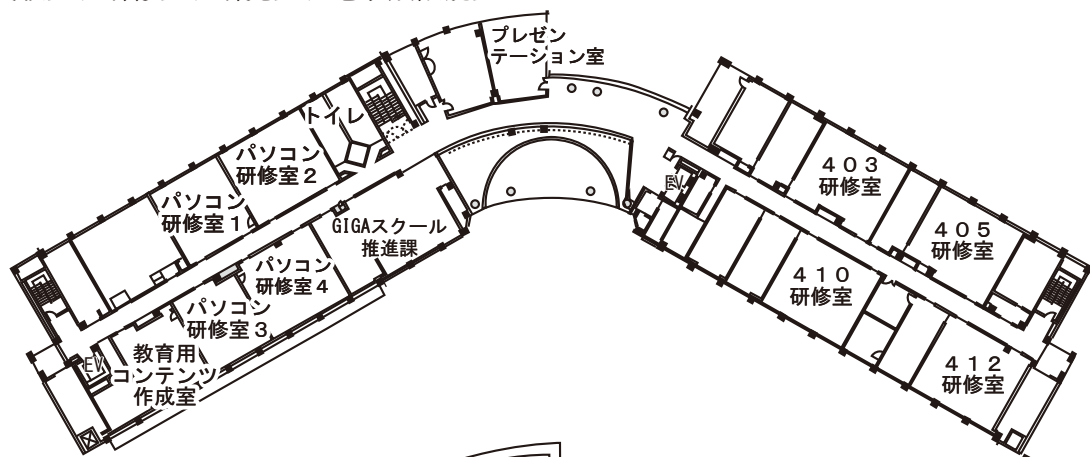
3階 2,744.40 m²

学校経営支援課、教職員研修課、研究室、研修室1（108人）、研修室2～4（48人）、研修室5（24人）、和室研修室（21畳）

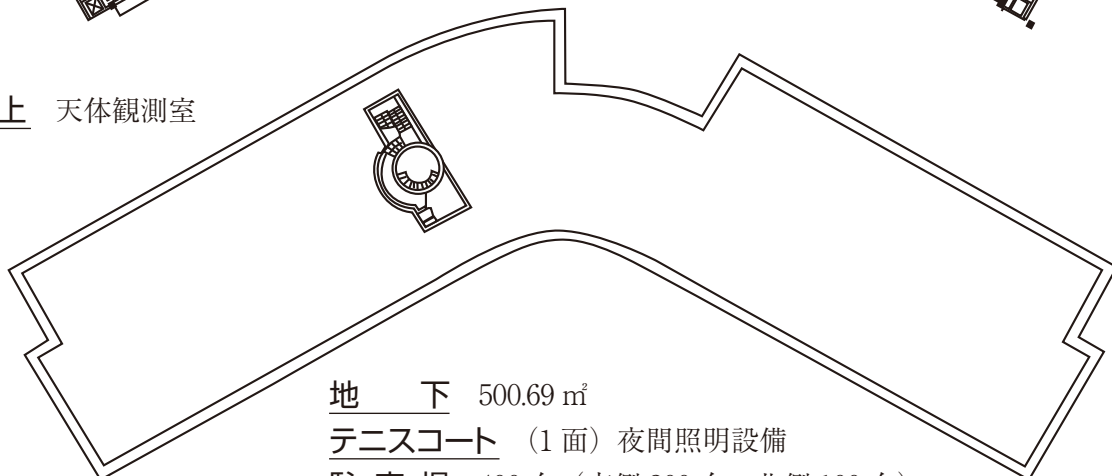


4階 2,537.02 m²

GIGAスクール推進課、パソコン研修室、プレゼンテーション室、教育用コンテンツ作成室、実験室、研修室、研究室、電子顕微鏡室



屋上 天体観測室



地下 500.69 m²

テニスコート（1面）夜間照明設備

駐車場 400台（南側300台、北側100台）

エコ設備 太陽光発電設備、雨水濾過再利用設備、氷蓄熱設備

敷地面積 40,107.93 m²

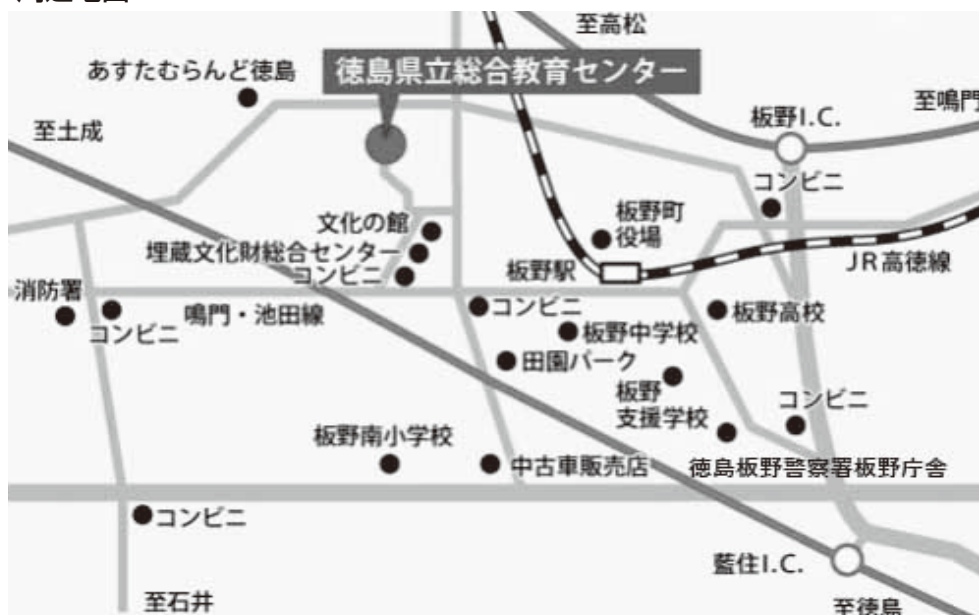
建築面積 本館 4,148.59 m²

建物（鉄骨・鉄筋コンクリート造、4階建、他に車庫）

延床面積 本館 12,508.05 m²

交通案内・連絡先

周辺地図



- 企画総務課
企画総務担当 電話 088-672-5000
ファクシミリ 088-672-5005
E-mail webmaster@mt.tokushima-ec.ed.jp
- 学校経営支援課
経営支援担当 電話 088-672-6420
義務教育担当 電話 088-672-5300
高校教育担当 電話 088-672-6418
ファクシミリ 088-672-6411
E-mail keieishien@mt.tokushima-ec.ed.jp
- カリキュラムサポートセンター
電話 088-672-6412
- 中央教科書センター
電話 088-672-6413
- 教職員研修課
教職研修担当 電話 088-672-5100
専門研修担当 電話 088-672-6419
ファクシミリ 088-672-6411
E-mail kensyu@mt.tokushima-ec.ed.jp
- GIGAスクール推進課
DX 戦略担当 電話 088-602-7611
学校支援担当 電話 088-672-5064
ファクシミリ 088-672-5109
E-mail gigaschoolsuishinka@mt.tokushima-ec.ed.jp
- 特別支援・相談課
特別支援担当 電話 088-672-5200
教育相談担当 電話 088-672-5200
ファクシミリ 088-672-5229
E-mail tokubetsushien@mt.tokushima-ec.ed.jp
- 生涯学習支援課
学習支援担当 電話 088-672-5400
学習情報担当 電話 088-672-5400
ファクシミリ 088-672-5462
E-mail shougaigakushuusenka@mt.tokushima-ec.ed.jp
- 徳島県立総合高等学校
「まなびーあ徳島」本部事務局 電話 088-672-7770
視聴覚ライブラリー 電話 088-672-5400

徳島県立総合教育センター

〒779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字東谷 1-7
電話 088-672-5000 ファクシミリ 088-672-5005
E-mail : webmaster@mt.tokushima-ec.ed.jp
<https://www.tokushima-ec.ed.jp/>